

経営比較分析表（令和6年度決算）

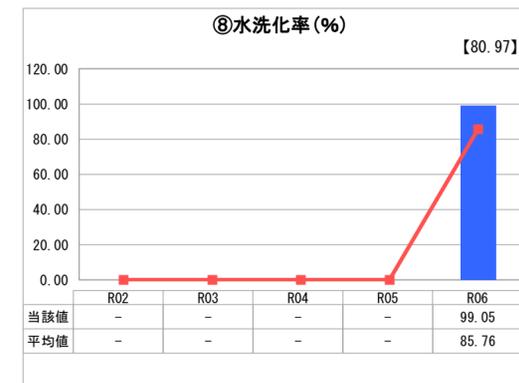
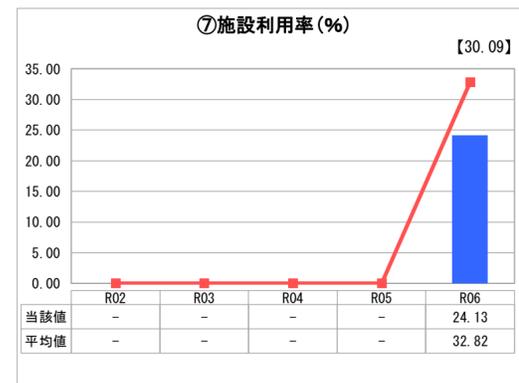
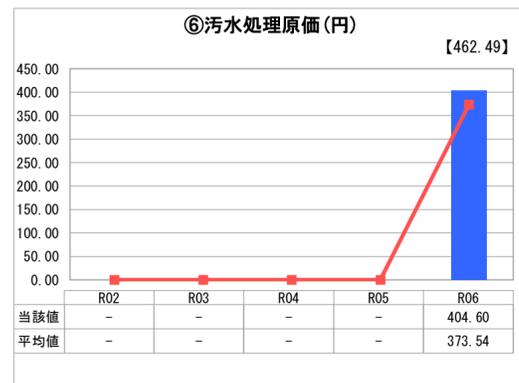
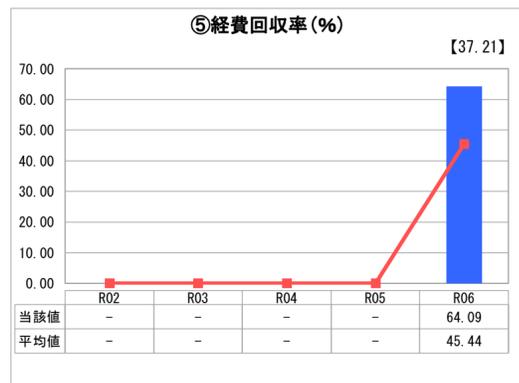
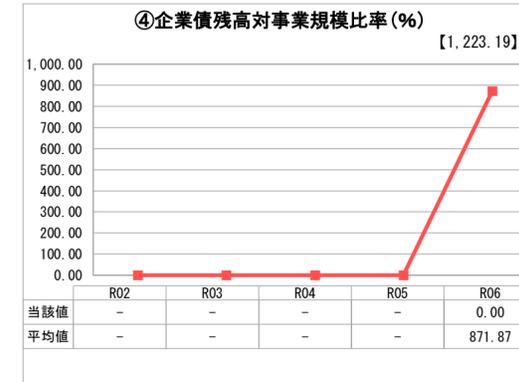
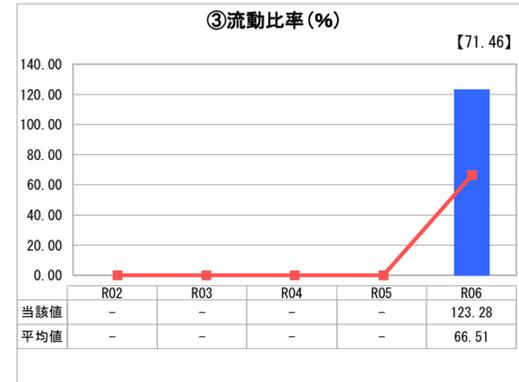
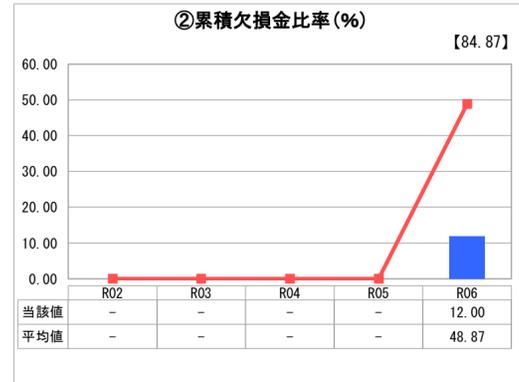
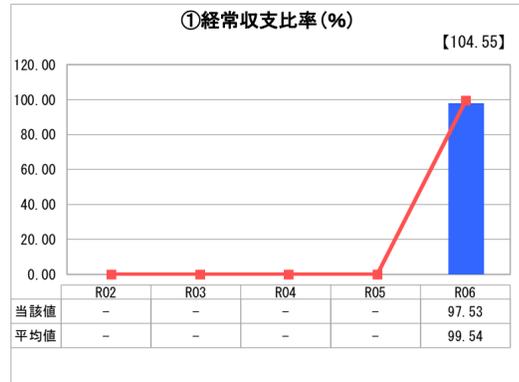
福井県 小浜市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	96.54	2.69	76.30	3,850

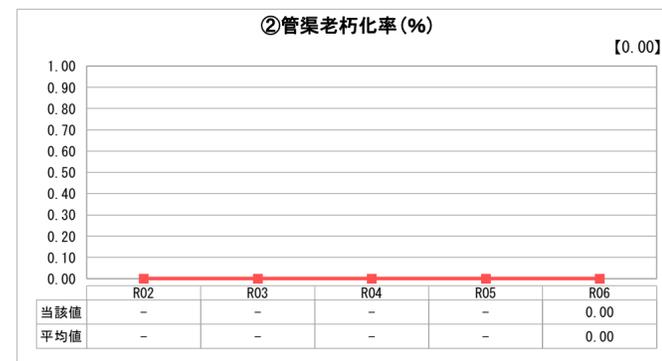
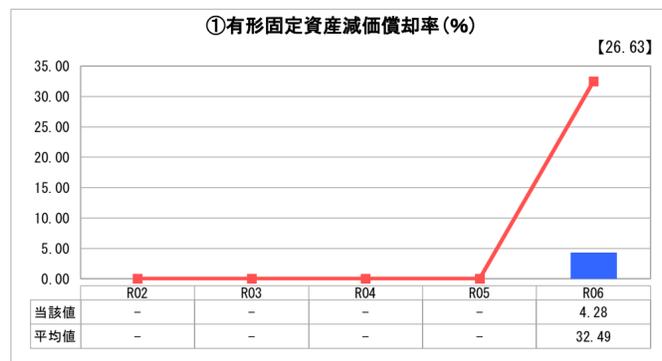
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,644	233.11	118.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
737	0.51	1,445.10

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

公営企業会計適用初年度の漁業集落排水事業は、①経常収支比率は97.53%となっており、日常的な維持管理に必要な経費を料金収入等で賄うことができていない。また、⑤経費回収率も64.09%と低く、他会計の負担金等に依存せざるを得ない経営状況にある。

⑦施設利用率は他団体と比べても低い値となっている。人口減少や民宿利用者の減少等により、処理水量は減少しており、さらに、⑥汚水処理原価は他団体より高いことから、今後、処理能力の見直し等が必要となってくる。

施設の老朽化の進行や物価高騰により維持管理費は年々増加している一方で、利用者の減少等により使用水量は減少しており、使用料収入も減少している。このことから経営の健全性・効率性の両面で課題を抱えている

2. 老朽化の状況について

老朽化した設備や機械類については、これまで必要に応じて部分的な修繕で対応してきた。しかし、最も古い施設は平成元年から供用を開始しており、経年劣化が進んでいる。老朽化に伴う維持管理経費は物価高騰等も影響し、年々増加している。

全体総括

維持管理費が使用料収入を上回っており、他会計の負担金等で収支を確保していることから、厳しい経営となっている。

施設利用率が低く、処理施設の老朽化も進んでいることから、ダウンサイジングといった抜本的な対応策の検討が必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。